

住民参加型の「福祉の伴づくり」を掲げ、発足から三年のみんなの善意銀行。赤ちゃんからお年寄りまで住み良い地域づくりを進めるために助成金による各団体・グループの幅広い活動を支援します。

(池田美代子事務局長)

ぬまたエコ広場(三月・環境局安佐南工場)▽防災町民運動会(四月・伴小)▽美しい散歩道・通学路モデル看板製作の三件の申請を二月、新たに受理しました。これらの地域おこし助成先は、地域福祉、町づくり、防災・災害支援の三分野で計十三件。助成総額は九十万円を超えました。以下、主な参考事例はー。

地域福祉は高齢者福祉(健康づくり事業)▽障がい者支援(みらいちゃんマスク製作等)。

町づくりは交通安全(子ども見守りボランティア等)▽伝統行

コロナ禍の影響で昨年七月から中止していた障がい者作業所の自主製品販売店「みらいちゃんショップ」が三月二日、沼田合同庁舎「火山館」の交流スペースで再開しました。

(障がい者福祉部会 石富三弘部長)

毎月第一、第三木曜日の午前十一時～午後二時に開店です。初日から生鮮野菜やシイタケ加工品、クッキー、ケーキ、小物を求め、お客さんが来訪。ボランティアのスタッフが準備した販売フロアに活気が戻りました。

ショップには太田川学園、工房とも、ひだまりの家のみなさんが出店。多数のご来店をお待ちしています。

各地域の行事も徐々に再開されつつあるようです。みらいちゃんショップは、地域のお祭り



触れ合いの場 8カ月ぶり(3月2日)

地域と触れ合い みらいちゃんショップ再開



やイベントなどに合わせて臨時出店も可能なお店のスタイルです。ご興味を持たれましたら、伴社協または戸山・伴・大塚地域包括支援センターまでお問い合わせください。

総務部会

伴社協が市指定管理者として四期目の継続受託する老人いこいの家。拠点スタッフを事務所に配置し、地域の課題を相談できるように努めています。

令和四年四月十二月の利用者は一万千九百九十一人。コロナ禍で半減した二年間から回復したものの初年度同期の三分の二強

優しく美しく健やかに伴づくり

児童福祉部会

夏休みのラジオ体操会は、十五町内会三十会場で子ども千二十三人、大人四百一人が参加しました。子ども会や大人の体操会「げんきかい」、老人会など担い手はさまざまです。その一つの伴学区子ども会連合会が解散しました。

最後まで支えて活動された奥畑、三城田、広陵の三子ども会も、これから単位子ども会として他団体と協力して顔の見える近隣づくりの取り組みを一層よろしくお願いします。

(中本力夫部長)



輪になって (7月・広陵町内会「みんなの広場」)

内訳は、庭の草取り・草刈り・枝落としの家周辺の作業が十四件と最多。続いて大型ごみ処分三件、掛時計電池や蛍光灯の交換・障子の張替の室内作業三件が並び、防草シート張替の屋外作業一件。

新しい取り組みの通院介助に一人の利用があり、介助者二人が計十回付き添っています。

ひとり暮らし・高齢世帯のみなさんが、住み慣れた場所安心して暮らし続けるための少しのお手伝いです。訪問作業に参加できる方は、会員登録をお願いします。

申し込み先
沼田老人いこいの家
電話 八四八―三二七七

(上野昭司事務局長)



草刈り支援のみなさん (7月・三城田)

いこいの家で三年ぶりの研修会を開催。各町内会から二十八人が顔を合わせ、地域での役割を確かめました。コロナ禍でも各地のサロンやボランティアバンクの訪問支援活動などをされる委員のみなさんの報告を聞き、心強く思いました。

(有馬義憲部長)



会場で紹介される福祉委員(右側)

伴あんしんネット

一人暮らし等の高齢者登録者を近隣の協力が見守ります。いつもの挨拶、さりげない声掛けで寄り添います。

地域包括支援センター内
伴あんしんネットの会
電話(八四九)五八六〇

福祉委員部会

グラウンドゴルフの記念大会に福祉委員六人が出場、十二人も会場でお手伝いをしました。高齢者のみなさんが元気に活動されるように地域で支え合う大切さを感じました。二月に予定した野外研修会は、直前に中止しました。昨年十一月には老人

(中村晴男部長)